

2013年07月09日

6月27日開催 公開講演会開催報告

JAREC

6月27日（木）第8回通常総会終了後に、霞山会館にて公開講演会を開催した。

「中古住宅不動産流通市場と空家対策」という統一テーマのもと、第1部では国土交通省のお二人の講師から、国にとって喫緊の課題である空家問題についてのお話をお聞きしました。

まず、住宅局住宅総合整備課の臼井様からは、「空家問題の現状と取り組み」という演題で、住宅ストックと空家の現状についての説明の後、少子高齢化が進む近未来日本を人口・世帯数等の具体の予測値をもとにお示しいただき、さらに空家問題を考える際の留意点や取り組みの方向性、空家対策に関連するビジネスの育成・普及についてご講演いただきました。

続いて、土地・建設産業局不動産課の矢吹様からは「中古住宅流通市場の活性化に向けて」と題して、不動産流通市場活性化の意義と政府の動き、中古住宅流通市場の現状と施策の方向性について解説していただきました。

第2部では、業務・研修委員会から、この講演会の内容を受けての今後の取り組み方針のほか、平成24年度事業の成果である「不動産カウンセリング・ビジネスモデル集」の意義と活用方法等について説明しました。

近未来の日本は、急速な人口減少が進み、2050年には現在の居住地域（国土の50%）の2割が無居住化する一方で、膨大な中古住宅と借り手がつかない空家がマーケットを埋めるといふ、想像を絶する事態に突入します。所有者がいない空家が発生してからでは打つ手が限られます。空家が発生する前の予防措置として、相続対策、有効活用、高齢者の成年後見などの多方面の知見に精通した専門家が、高齢不動産所有者の住み相談相手になることが必要であり、この分野での不動産カウンセラーへの期待が非常に大きいことを実感しました。